

## ■工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取り組み

### 1. 工事規制計画の工夫

#### (1) 工事期間の設定

工事期間を設定するにあたり、交通への影響の大きい他の工事や交通量が増加する年末年始と重複しない実施期間を設定させていただきました。

#### (2) プレキャスト製品の活用

工事期間を短縮するため、新しい床版は、工場で製作した製品（プレキャストコンクリート製品）を用いて工事を実施させていただきます。



プレキャスト床版の施工状況

#### (3) 工事の集約による交通規制回数の削減の工夫

本工事と併せて道路の維持修繕作業や点検作業などを実施することで工事を集約し、交通規制回数を削減できるよう工夫しています。

### 2. お出かけ前のお客さまへの情報提供の強化

お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、E1 東名リニューアル工事専用 WEB サイトにおいて、最新の工事規制および渋滞状況について情報提供させていただきます。

工事期間中は、朝・夕を中心に渋滞が予想されますので、お出かけ前に専用 WEB サイト・ポスター・リーフレットなどの情報を参考にいただき、C3 東海環状道、C2 名二環、名高速や一般道などへの迂回やお出かけ時間帯変更をご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

#### <リニューアル工事専用 WEB サイトにおける主な情報提供の内容>

##### (1) 工事期間中の渋滞予測のご提供

###### ◎ 渋滞予測のご提供

工事期間中に予測されている高速道路の渋滞の位置と時間を専用 WEB サイトでご提供させていただきます。

##### (2) 最新の所要時間のご提供

走行ルートを選択やお出かけ時間帯の変更をご検討をしていただけるよう、最新の所要時間情報をご提供させていただきます。

### ① 渋滞予測を加味した所要時間検索

当社ドライバーズサイト内の料金・ルート検索より、出発 IC と到着 IC を入力していただきますと、渋滞予測を加味した所要時間をご確認いただけます。

※所要時間は、交通状況の変化などにより、実際の所要時間とは異なる場合があります。

### ② 工事区間周辺の最新の所要時間情報

工事区間周辺の最新の所要時間をご確認いただけます。

(過去の工事での専用 WEB サイトでの掲載イメージ)



### (3) 主な迂回ルートのご案内

朝・夕を中心に渋滞が予想されますので、迂回をご検討いただくためのルート情報をご提供をさせていただきます。

### 3. 高速道路を走行されているお客さまへの情報提供の強化

#### (1) 高速道路上での情報強化

工事期間中は、高速道路を走行するお客さまへ情報提供をおこなうため、迂回ルートへの分岐手前には仮設情報板を設置し、渋滞時には C3 東海環状道や C2 名二環への迂回ルートや最新の所要時間情報を表示します。走行ルートを検討される際にご活用ください。

(仮設情報板による交通情報提供)



#### (2) 一般道上での情報強化

一般道への迂回もご検討いただくため、高速道路ご利用前の一般道上でも工事区間の最新の所要時間情報を表示します。

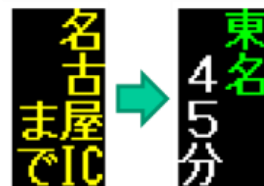
(仮設情報板による交通情報提供)



名古屋IC付近での表示例



春日井IC付近での表示例



## ■安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

### (1) スピードの出しすぎを抑制する対策

安全に走行していただくため、スピードの出しすぎを抑制する対策として、適切なポイントとタイミングで注意喚起をおこなうために、工事規制箇所の手前や渋滞末尾付近の路肩に LED 標識を配置するとともに、渋滞末尾と想定される箇所に薄層舗装や導流レーンマークを施します。また、セーフティーカーを走行させることで、安全な速度でご利用いただけます。

(LED 標識の案内表示例)



(薄層舗装)



(導流レーンマーク)



(セーフティーカー走行)



### (2) 対面通行規制区間手前の規制テーパー部の事故対策

2 車線から 1 車線に車線数が増える区間に、視線誘導となる LED ライトを設置し、光の流れにより安全な速度でご利用いただけます。また、夜間の視認性を向上させるため、照明を設置します。

(視線誘導の設置例)



(テーパー部照明の設置例)



### (3) 対面通行規制区間の事故対策

対面通行規制区間における車両の逸脱による衝突事故を防ぐため、中央分離帯に仮設防護柵を設置します。また、仮設防護柵に反射材を設置して視認性を向上させます。

(仮設防護柵の例)



### (4) 事故発生時の早急な対応

きめ細かな情報提供とお客さまの安全のために交通規制区間に設置した渋滞計測機器を活用し、24 時間体制で道路状況を監視するとともに、特設情報板や渋滞末尾警戒車でお客さまへリアルタイムの情報をお知らせいたします。また、万が一の事故に速やかに対応できるよう交通規制および工事区間付近にレッカー車の事前配備や非常用駐車帯を設置します。

(24 時間監視の実施例)



(レッカーの配置例)



(非常用駐車帯の設置例)

